

令和5年度「市長と語り合う会」について（匹見下地区）

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和5年 5月29日（月）	匹見下公民館	19:00～20:00	16	3	19

- 市側出席者
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

2 会の概要

- 開会（秘書課長）
 - ・ 会の趣旨説明
 - ・ 出席者紹介
- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

1. 令和5年度 施政方針の考え方

・ウィズコロナからアフターコロナへ

新型コロナウイルス感染症はまだ続いているが、5月8日から感染法上の位置づけが5類になり、これまで感染予防を最優先にした体制だったが、人と人の繋がりや地元経済を回していくよう少しずつコロナ前の状態に戻していく事としている。

・持続可能な未来都市の実現

今地球温暖化が大きな問題となっており、温暖化の要因となっている二酸化炭素等の温室効果ガスの気体が増えたことにより進んだとされている。そこで、石油や石炭の使用を抑えたり、発電についても再生可能エネルギーへの転換等、二酸化炭素の排出量を抑える取り組みが行われている。市においても、照明をLEDに変えたり、公共施設の屋根に太陽光発電を設置してきた。また、昨年度共用車の1台を電気自動車にしており、今後少しずつ切り替えていきたい。市役所の電力についても、再生可能エネルギーで発電された電力を使用するようにしている。

新型コロナの流行により、人と人が会わなくても会議ができるweb会議等が行われるようになっているが、市役所の手続きや窓口サービスにおいても、新しい技術を取り入れて市民サービスを向上させたり、行政手続きをスムーズにすることも考えている。特に今年度から、亡くなられた際の手続きを、出来るだけ1カ所で済むようにする「おくやみサポートサービス」を実施している。今後も新しい技術を使った市民サービスの向上を進めていきたいと考えている。

2. 令和5年は様々な節目の年

・JR益田駅開業100周年

大正12年にJR益田駅が開業し、この時に山口線が益田駅につながり全線が開通した。その年の12月に山陰本線も東から益田駅までつながり、益田駅が山陰本線の停車駅となった年でもあり、鉄道路線が急速に充実した時期だった。本年が、益田駅開業100周年の年になる。

JRについては、人口減少とコロナ等により利用者が減り、赤字路線の見直しの話が出てきている。JRの路線の存続は大事であるので、今後JRの利用を呼び掛けていき、鉄道路線が持続されるよう取り組んでいきたい。

・萩・石見空港開港30周年

平成5年の7月に開港し、今年が開港30周年になる。7月に開港30周年を記念したセレモニーを行うこととしている。

今年の春に、東京線2往復運航が令和7年3月まで継続されることが決まった。交通の利便性を維持するためには無くてはならないものなので、その後も2往復運航、また大阪線も継続して

いくため、さらに利用拡大を勧めていきたい。

・柿本人麿没後1300年

今から300年前の江戸時代に、柿本人麿1000年忌が行われ、高津柿本人麿神社に朝廷から正一位を頂き祀られ、今年が没後1300年に当たる。現在、民間の団体で記念イベントが企画されており、益田の誇る歴史的な人物で様々な文化の発信の元でもあるので、行政としても協力し盛り上げていきたいと考えている。

○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 自治会長会議について (1) について
- ② 自治会長会議について (2) について
- ③ 自治会長会議について (3) について
- ④ 自治会長会議について (4) について
- ⑤ 国道488号の整備について
- ⑥ 斎場の使用について
- ⑦ 人口減少対策について
- ⑧ ゴミ処理の対応について
- ⑨ 公民館施設の修繕について
- ⑩ 携帯の不感地域について
- ⑪ 風力発電について

○ 閉会 (秘書課長)

令和5年度「市長と語り合う会」

〔会場 匹見下公民館 開催日時：令和5年5月29日（月）19:00～20:00〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 自治会長会議について (1) 今年度以降、自治会長会議が中止されると聞き、自治会長へ問い合わせたが知らないと言われた。公民館へ問い合わせたら、今年度以降は取りやめるので、問い合わせがあったらそのように伝えてほしいと担当課から言われたとの事だった。会議を取りやめる事自体については言うことはないが、市の自治会に対する取り扱いに疑問を感じる。こうした一方的なやり方が、今後もなされる危惧を感じているし不信感がある。自治会長へ周知し理解してもらおう事をされなかったのは残念に思う。長年されていたことをやめるわけなので、検討されたことをしっかり伝えて最後を締めくくべきではないか。</p>	<p>① 自治会長の中止については、一旦市役所内で方向性を決め連自治会長会へ相談し、概ね異論がなかったためその方向で進めていたが、その後、一部の自治会長より反対の意見があったので、中止の方向性については、見直すこととし、自治会長の意見を伺う方法を現在検討している。</p>
<p>② 自治会長会議について (2) 自治会長会議のあり方を検討する際には、連自治会長会ではなく、単一自治会の自治会長の声を丁寧に聞いたうえで進めていくのが筋だと思うのでよろしくお願ひしたい。益田市のまちづくりは、行政と自治会が一緒になり進めてきており、末端を担っているのは単一自治会である。自治会長会議は、お互いのまちづくりに対する協同の意識を共有する重要な会議と思うので、引き続き開催してほしい。</p>	<p>② 自治会長会議を中止しようとした理由は、自治会長の皆様に集まっていただく負担を考慮したことと、自治会長の位置づけが地域によって違いがあり、自治会長が地区住民の代表する役割を果たしていない自治会もあるため、それ以外の方法で情報の周知や広聴を行うことが適切ではないかと考え、一旦決定したが、匹見地域のように、自治会長は、住民の皆様の意見の集約される立場であるといった意見もお聞きしたので、再度自治会長の意見を伺ったうえで決定することとしたところである。</p>
<p>③ 自治会長会議について (3) 自治会は、行政の補完組織であると考え。市の幹部が出席されて、対面で政策や考え等を聞くのが自治会長会議であり、対話なくしては、町の発展はないと思うので、しっかり議論し、今後も明るい市の発展に尽くしていただきたい。</p>	<p>③ ご意見を参考にし、今後の方針の検討を行う。</p>
<p>④ 自治会長会議について (4) 連自治会で了承したと言われるが、了承はしていない。第一回の会議でそのような機運になったときは、欠席していたので、第2回の会議で、まだ説明が足りないと思ひしている。</p>	<p>④ 連自治会長会議の役員会までは、概ね了承いただける雰囲気だった。ただ、一部の自治会長にも広がり反対の声が上がったため、次の会議には異論が出たという事である。</p>
<p>⑤ 国道488号の整備について 合併時の重点施策の1つでもあるが、まだ少ししか進んでいない。事業完了がいつになるのか危惧している。県への要望等事業の早期完了を望む。</p>	<p>⑤ 市の重点施策として、毎年県へ要望している。県としても整備の進捗の割合に比べれば多額の予算を割いていただいている。今後も力を入れて要望していきたい。</p>
<p>⑥ 斎場の使用について コロナの影響で斎場の使用に制限がかかって</p>	<p>⑥ 改善はされてきているが、詳細は確認し公民館をとおしてお知らせする。</p>

いた。他の市町は行く事ができるのに、なぜ益田市は行けないのか。今も制限がかかっているのか。

⑦ 人口減少対策について

集落の民家が、以前は50件あったが13件に減っている。このままだと誰もいなくなるのではないかと心配している。昨年、私なりに田の水路を利用して小水力発電を行おうと試みたが個人では難しい。ただ何かしないと誰もいなくなる。何とか集落を維持していく施策を行ってほしい。

⑧ ゴミ処理の対応について

ゴミ減量推進会議が以前はあり、廃棄物の低減交付金を受けて、集落で担当を設けゴミ減量に取り組んでいたが、各事例に対する行政の指導がまちまちである。対応に統一性を持たせるためにも、ごみ推進会議たるもので明確に伝えてほしい。

⑨ 公民館施設の修繕について

公民館のグラウンドにナイター設備があり、グラウンドゴルフ大会等行っているが、照明施設が全部点灯していないため支障となっているので、修繕をお願いしたい。また、遊具もあるが、危険であるため使用禁止となっている。撤去も含め対応を検討してほしい。

⑩ 携帯の不感地域について

a uの鉄塔(基地局)が、2年半くらい前に私達の集落に建ったが、まだ利用することができない。なぜ利用できないのか理由を知りたい。

⑪ 風力発電について

風力発電について、他の地域では反対の声が出ているが、地元の道川地区では賛成という流れで進められていると聞いている。益田市の水源確保のためにも、乱開発させないよう行政として対応してもらいたい。

⑦ 生まれたところ、あるいは住んでいるところに、いつまでも安心して暮らし続けたいだけ市としても努力して行きたい。小水力発電という手法もあるし、その他にも小さい集落を維持する方法があると思うので、いろいろな可能性の中から住民の皆様へ理解、協力していただけるものを見つけて行きたい。

⑧ ごみの基準が明確でないという事なので、しっかりお伝えできるようにしたい。その手段の一つとして、ごみ推進会議が可能なのか、すべきかどうか検討したい。

⑨ 照明施設の不具合については、今後調査し、対応を検討したい。遊具については、昨年、市内の小学校で老朽化した教具で怪我をした事件があったため、一斉点検をし、危険な遊具については、一旦使用を禁止し順次修繕を行うこととしている。当施設の遊具については、現状は学校の遊具でないもので、優先度は低いが、誤って使用し怪我をすることがないように対応したい。

⑩ 業者等へ確認し公民館を通してお知らせする。

⑪ 風力発電は、再生可能エネルギーであり、それだけ見ると環境によい施設になるが、一方で、環境、景観、水質への影響等の懸念されているのも理解している。市としては、事業者に対し、地元の方の納得いただける形で、十分な説明や懸念を払拭する手立てを行うよう意見しているところであり、しっかり呼びかけていきたい。